



# 2019 政務調査研究報告

～ 地方財政セミナー ～

市民パワー 福澤克憲



# ◆研修内容①

【1日目】 2月6日(木)

13:00～ 主催者あいさつ

13:15～ **講演 ①「アベノミクスによろしく」**

明石 順平 弁護士

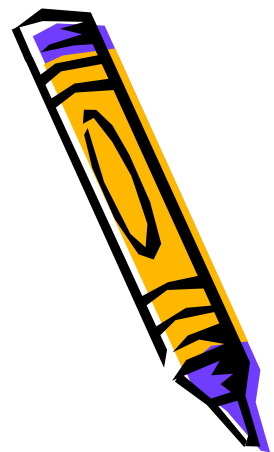
15:00～ **講演 ②「2020年度地方財政対策の概要」**

志賀 真幸 総務省自治財政局財政課  
財政企画官

16:40～ **講演 ③「2019年度普通交付税算定結果の検証」**

飛田 博史 地方自治総合研究所研究員

17:50 1日目終了



# ◆研修内容②

【2日目】 2月7日(金)

9:00～ 提起「地方財政への自治体関与の強化に向けて」

9:15～ 講演 ④「『地方創生』政策の検証と今後の自治動向」

今井 照 地方自治総合研究所主任研究員

10:35～ 講演 ⑤「政府予算と自治体財政について～自治体財政分析の手引きをもとに」

其田 茂樹 地方自治総合研究所研究員

11:45～ まとめと閉会



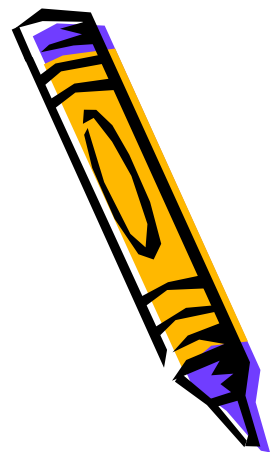
# ◆研修風景



明石 順平 弁護士



志賀 真幸 総務省 自治財政局財政課  
財政企画官



# ◆ 研修風景



其田 茂樹  
地方自治総合研究所研究員



会場全体風景



# ◆学んだこと①

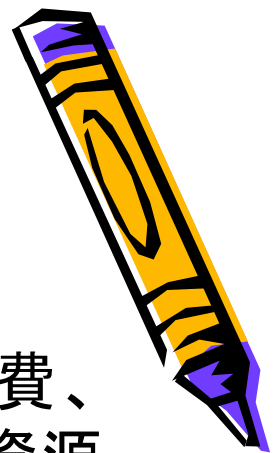
- ・地方税、財政など、特に一般財源を中心に、地方財政計画・地方交付税の推移と特徴等を改めて学ぶことができ、今後の課題を認識することができた。
- ・地方財政計画は、地方公共団体が標準的な行政水準を確保できるよう地方の財源を保証するもの。
- ・普通交付税の算定方法が、財源保障と財源調整の一体化の考え方から、財源調整機能へシフトしてきている。



## ◆学んだこと②

・**歳出特別枠**(特定費目:2008～地方再生対策費、2009地域雇用創出推進費、2010雇用対策・地域資源活用臨時特例費、2011雇用対策・地域資源活用推進費、2012～地域経済・雇用対策費、2013～地域の元気づくり推進費、2015～地域の元気創造事業費、2015～人口減少等特別対策事業費)**が設けられ、必ずしも財政需要に基づかない配分重視の算定となっている。**

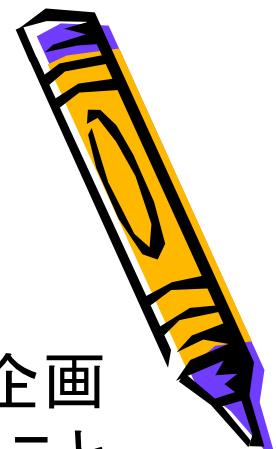
・社会保障経費が増大する中で、上記の特別枠や臨時財政対策債が、財政調整機能となっている。





## ◆学んだこと③

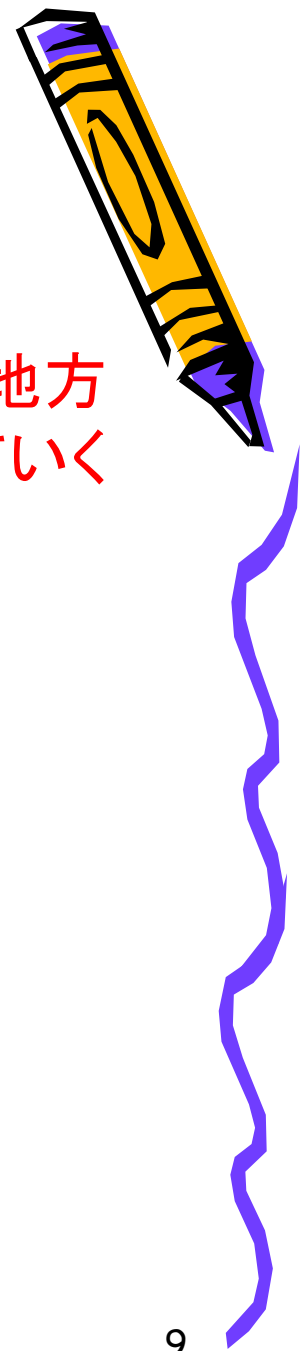
- ・今年には総務省自治財政局財政課の志賀財政企画官の講演を聞くことができ、次年度の動向を学ぶことができた。**まち・ひと・しごと創生事業費は、次年度においても引き続き1兆円を確保、ただし、地域の元気創造事業費の現在の算定方法である行革努力分については取りやめ、システムの標準化やクラウド化、ICTの活用などを考えているとのことであった。**
- ・新たに「**地域社会再生事業費**」を創設し、4,200億円を計上するとのことであった。算定方法としては人口密度の低い自治体に有利はたらく内容となっており、**飯田市としてはプラス要素となることが推測**できた。





## ◆学んだこと④

- ・財源調整機能へシフトしてきている中、地方は地方で発生している財政需要をしっかりと考え、示していくことが大切なことだと感じた。





ご静聴ありがとうございました。

市民パワー 福澤克憲